

アジア・アフリカ地域研究履修証明プログラム



アジア・アフリカ地域研究の最新の成果を学ぶことを通して、当該地域についての知識を体系的に身につけられます。

フィールドワークに基づく研究は、京都大学の傑出した伝統の一つです。本研究科の教員は、森林科学・農学・水産学・生態学・文化人類学・社会学・政治学・経済学・宗教学・医学・地理学・開発研究などの専門分野を基軸としながら、アジア・アフリカ各地において長期的・集中的なフィールドワークを実施し、地域研究を推進してきました。そしてこの地域の生態・社会・文化・歴史に関して、オリジナルで卓越した研究成果をあげています。本履修証明プログラムは、こうした研究の蓄積を広く公表し、社会に還元することを目的としています。

当履修プログラムはアジア・アフリカ地域の生態・社会・文化・歴史・政治・経済に関するファーストハンドの知見を体系的に説明し、同時にフィールドワークという研究方法の面白さ、楽しさを具体例に基づいて理解できるようになっています。社会人受講生の便宜を図るため、週末(土・日)に講義と演習を行う、約半年間のプログラムです。

このような方をお待ちしています！

- ・アジア・アフリカ地域に興味がある方
- ・アジア・アフリカ地域研究研究科に興味がある方
- ・国際協力の仕事に興味がある方
- ・海外でボランティアがしたい方
- ・アジア・アフリカでビジネスをしている(しようとしている)方

履修者募集！

プログラムの特徴

講師は京都大学の教員で、第一線のフィールドワーカー

アジア・アフリカ地域のさまざまな生の情報に触れられる

ASAFAS在学生のフィールド写真 左上より 池邊智基(セネガル)、中野真備(インドネシア)、石川喜堂(イラン) 中江優花(インド)、川股一城(エチオピア)、木戸みなみ(ミャンマー)

アジア・アフリカ地域研究研究科 (ASAFAS) とは？

本研究科は、アジア・アフリカ地域に関する深い理解と国際的・総合的視野をもつ先導的な地域研究者および地域実務者の養成を目指し、1998年に誕生した5年一貫制の大学院です。本研究科の学生たちは、さまざまな地域でフィールドワークを行い、研究に励んでいます。卒業生たちは、日本やアジア・アフリカ地域で、研究者として、実務家として広く活躍しています。